



“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話(098)869-8711  
2020年12月29日

各 位

株式会社 おきぎん 経済研究所

「第82回おきぎん企業動向調査」  
(2020年10-12月期) 調査結果

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、ご遠慮なく下記までご連絡ください。

・担当：野原

問い合わせ先：(電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200)

現場主義とお客さまからの信頼

## 第 82 回おきぎん企業動向調査(2020 年 10-12 月期)調査結果

～県内(地域・業種別)の経営環境と業況感～

### I. 調査概要

- 本調査では各企業の業況感や経営状況項目などについて、企業経営者の主な判断(当期実績、来期見通し)を景気動向指数 DI として取りまとめる四半期調査です。

【調査時期】2020 年 12 月上旬

【調査対象】県内企業 549 社回答

【調査内容】①業況 ②売上高 ③売上単価 ④仕入単価⑤採算 ⑥引き合い ⑦雇用 ⑧設備・その他投資需要(第 51 回調査までの「IT 関連投資」と「その他の投資」を統合)

### —おきぎんDIとは—

主に企業経営者の業況などに関する実績判断や見通しを「好転・上昇・増加」、「不変(変わらない)」、「悪化・低下・減少」のいずれかでお答えいただき、各割合を表したものです(本レポートでは「悪化・低下・減少」はマイナス表示を使用)。

雇用に関しては、「過剰・適正・不足」でお答えいただき、「不足」はマイナス表示を使用(第 74 回より)。

①「好転・上昇・増加」+「不変(変わらない)」+「悪化・低下・減少」=100%

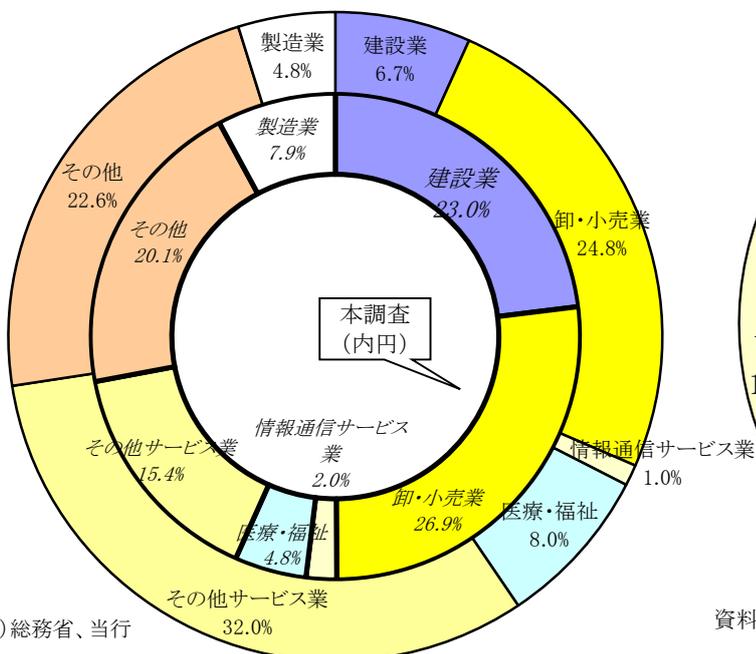
②DI(景気動向指数) = 「好転・上昇・増加」の割合(%) - 「悪化・低下・減少」の割合(%)

従って、DIがプラスなら景気が良い(または上昇見込み)、マイナスなら悪い(または下降見込み)、と捉えます。

### 調査対象企業の業種・所在地構成

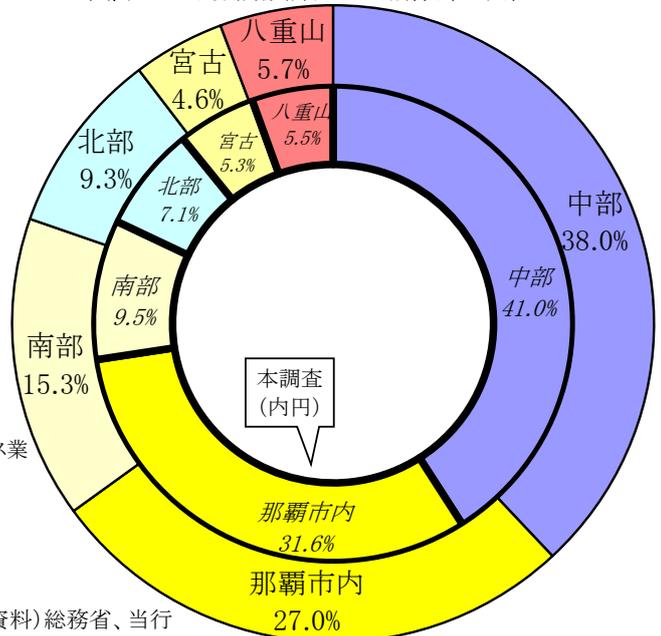
本調査の業種構成を県内事業所データ(2016 年経済センサス活動調査)と比べると、【建設業(本調査では土木・建築業)】、【卸・小売業】、【情報通信サービス業】、【製造業】はサンプリング数が多く、【医療・福祉】、【その他サービス業(宿泊、飲食等)】、【その他(不動産、運輸等)】はサンプリング数が少なくなっています。また、所在地構成では、中部と那覇市内の合計が全体の7割以上を占めています。

県内の産業別事業所数の構成(外円)、  
本調査の回答事業所数の業種構成(内円)



資料)総務省、当行

県内の事業所数所在地の構成(外円)、  
本調査の事業所数所在地の構成(内円)



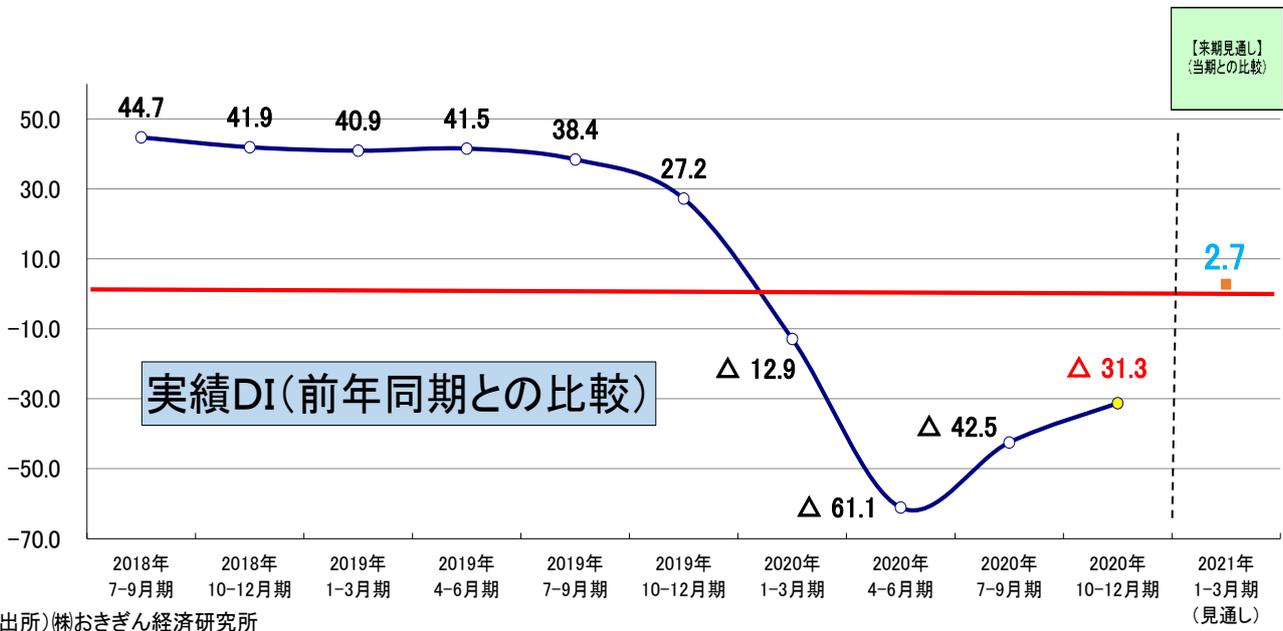
資料)総務省、当行

➤ 調査の結果

当期の業況DIは△31.3（前年同期比）となり、全体として業況の弱さがみられます。前期に引き続きマイナスとなりました。一方、来期の業況見通しDIは2.7（当期比）となり、全体として業況改善の動きが見込まれます。

【業況DIの推移】	2019年		2020年				
	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期見通し
項目	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前期比DI
<b>全業種</b>	<b>38.4</b>	<b>27.2</b>	<b>△ 12.9</b>	<b>△ 61.1</b>	<b>△ 42.5</b>	<b>△ 31.3</b>	<b>2.7</b>
製造業	30.2	29.5	△ 19.5	△ 70.8	△ 61.0	△ 30.2	△ 9.3
土木業	11.1	20.0	21.4	△ 6.3	△ 22.2	△ 20.0	12.0
建築業	37.6	36.0	21.2	△ 25.5	△ 9.4	△ 3.0	9.9
卸売業	44.0	15.3	△ 15.3	△ 70.4	△ 48.1	△ 48.8	△ 1.2
小売業	34.4	20.3	△ 18.7	△ 78.8	△ 44.1	△ 33.8	6.2
情報通信サービス業	20.0	25.0	12.5	△ 77.8	△ 18.2	△ 9.1	27.3
医療・福祉	40.7	36.0	60.9	△ 65.8	△ 34.3	△ 26.9	0.0
その他サービス業(宿泊・飲食等)	41.6	20.3	△ 59.3	△ 80.4	△ 75.3	△ 47.1	3.5
その他(不動産、運輸等)	41.5	31.9	△ 5.2	△ 58.0	△ 42.1	△ 36.9	△ 2.7

業況DI実績の推移(おきぎん企業動向調査)

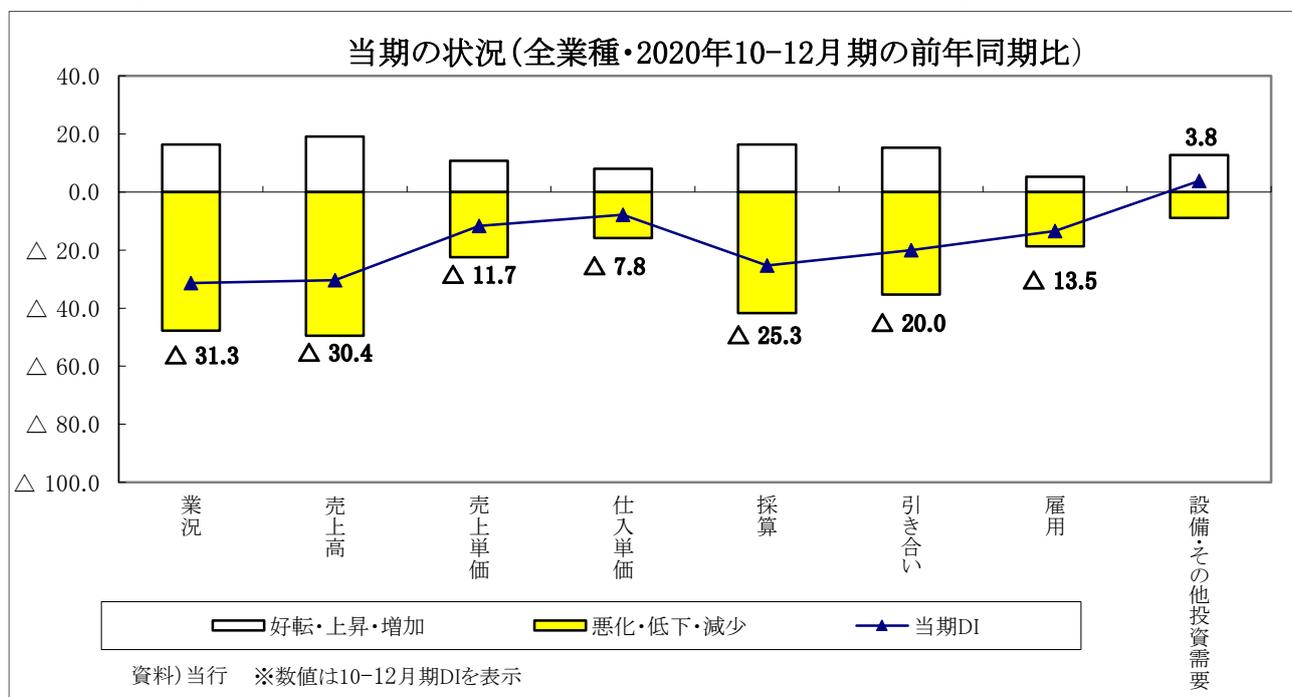


※「2021年1-3月期(見通し)」2.7については、今期(2020年10-12月期)との比較であり、前年同期との比較ではない。このため折れ線グラフは連続していません。

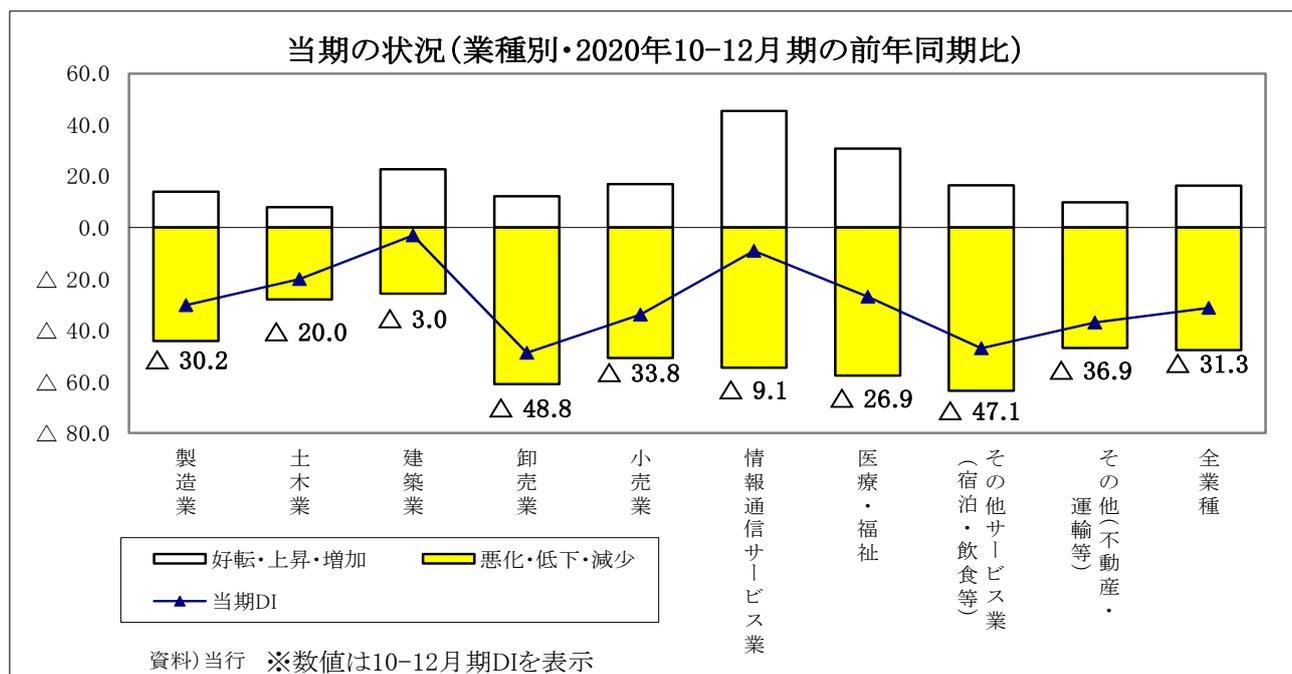
## II.調査結果(総論)

### 1.当期の状況(2020年10-12月の前年同期比)

- ▶ 当期の業況は $\Delta 31.3$ となり、**全体的に業況の弱さ**がみられます。新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、引き続き観光関連の需要の低迷などから、売上高( $\Delta 30.4$ )や採算( $\Delta 25.3$ )、引き合い( $\Delta 20.0$ )をはじめ、ほぼ全ての項目で減少しており、業況の弱さがみられます。

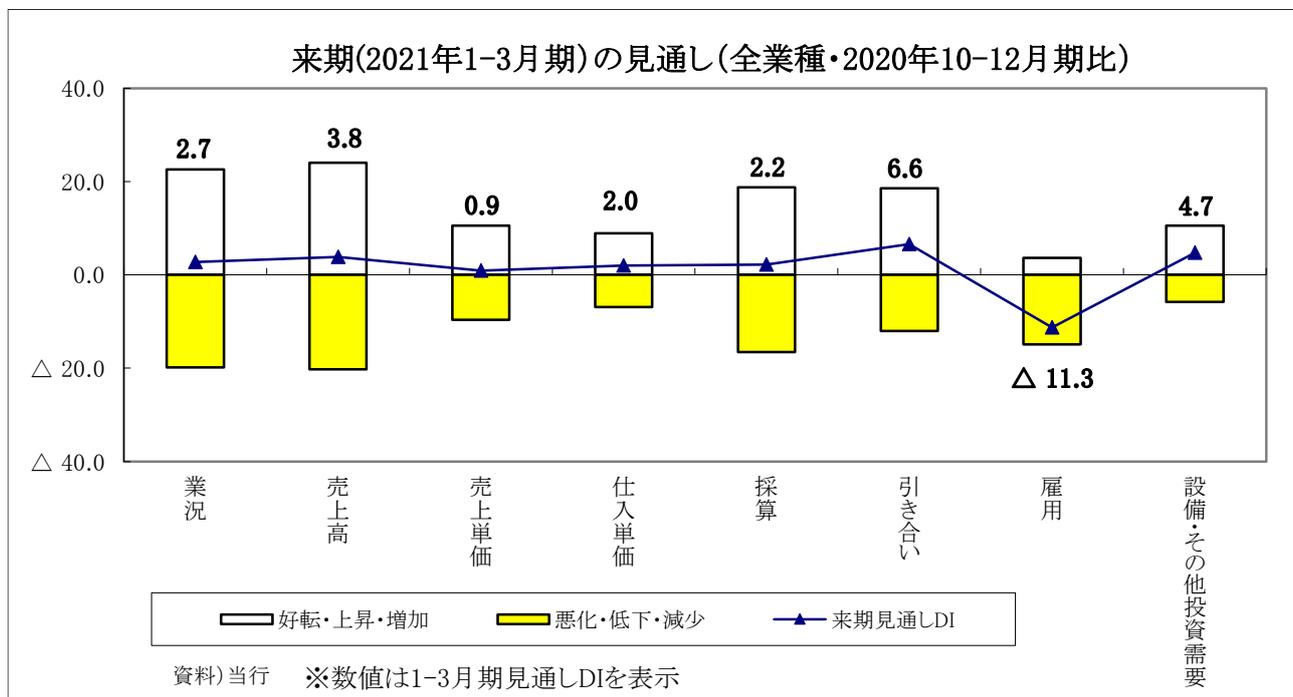


- ▶ 業種別では、新型コロナウイルス感染拡大の影響等により【卸売業( $\Delta 48.8$ )】をはじめ、【その他サービス業( $\Delta 47.1$ )】、【その他(不動産・運輸等)( $\Delta 36.9$ )】、【小売業( $\Delta 33.8$ )】などで**業況の弱さ**がみられ、全業種 DI を下回っています。

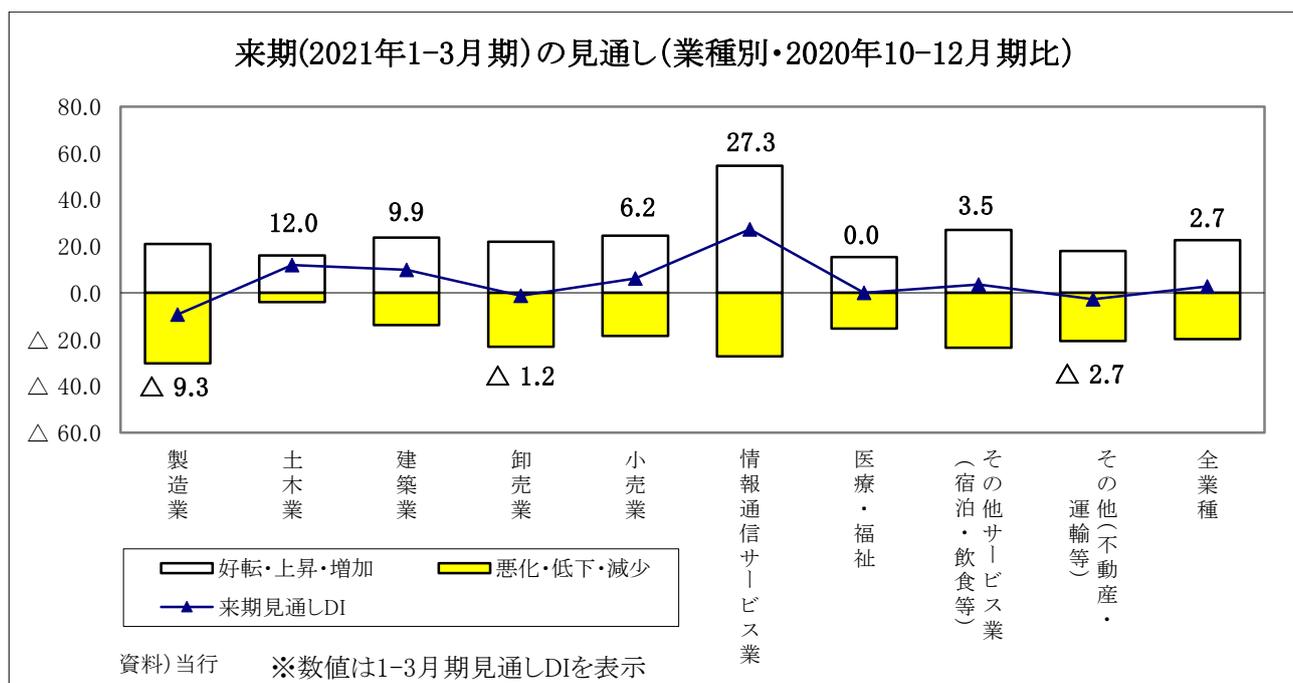


## 2.来期の見通し(2021年1-3月期の当期比)

- ▶ 来期の見通し業況DIは2.7となり、**業況改善の動き**が見込まれています。引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大の懸念はあるものの、国主導の観光キャンペーン施策への期待感などから、売上高(3.8)をはじめ、採算(2.2)、引き合い(6.6)などの項目で**業況改善の動き**が見込まれます。

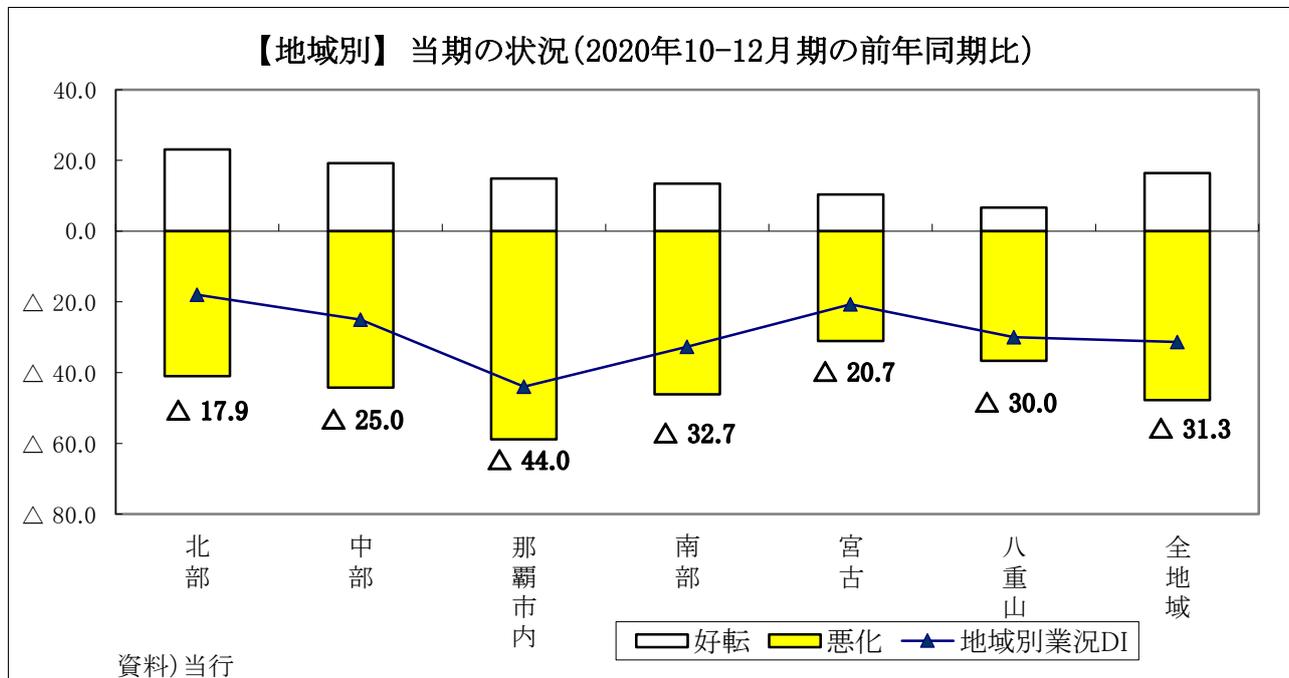


- ▶ 業種別では、全体として**業況改善の動き**が見込まれます。引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響はあるものの、【情報通信サービス業(27.3)】をはじめ、【土木業(12.0)】、【建設業(9.9)】、【小売業(6.2)】などの業種において**業況改善の動き**が見込まれます。

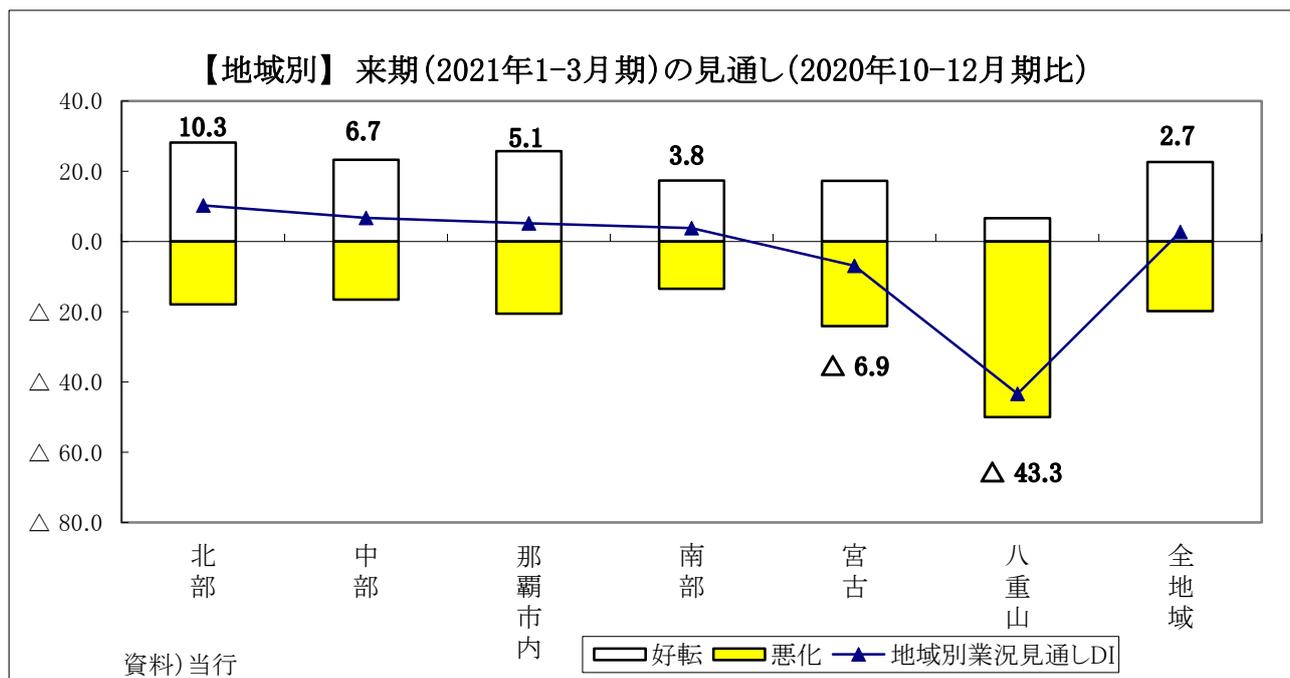


### 3.地域別の業況 DI

- 当期の地域別 DI(前年同期比)は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各地域で観光関連(宿泊業・飲食業等)において需要が減少していることから、那覇市内(△44.0)をはじめ、南部地区(△32.7)および八重山地区(△30.0)など全ての地域で業況に弱さがみられます。



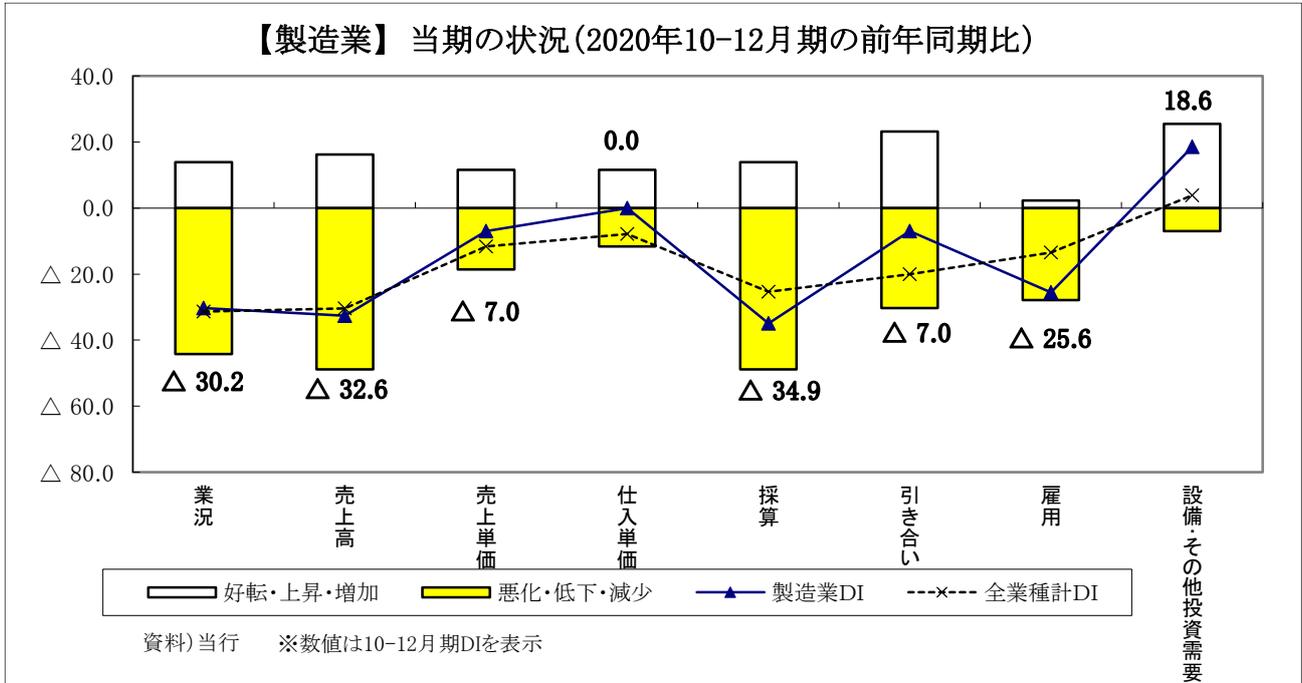
- 来期の地域別DI見通し(当期比)は、八重山地区(△43.3)、宮古地区(△6.9)を除くその他の地域、北部地区(10.3)、中部地区(6.7)、那覇市内(5.1)などで業況改善の動きが見込まれます。八重山地区では、建設業界における工事受注の減少及び人材不足の深刻化からマイナス寄りの回答が目立ちました。一方宮古地区では、一定のコロナの影響はあるものの、宮古島市内の建築需要が依然高く、マイナス回答は限定的でした。



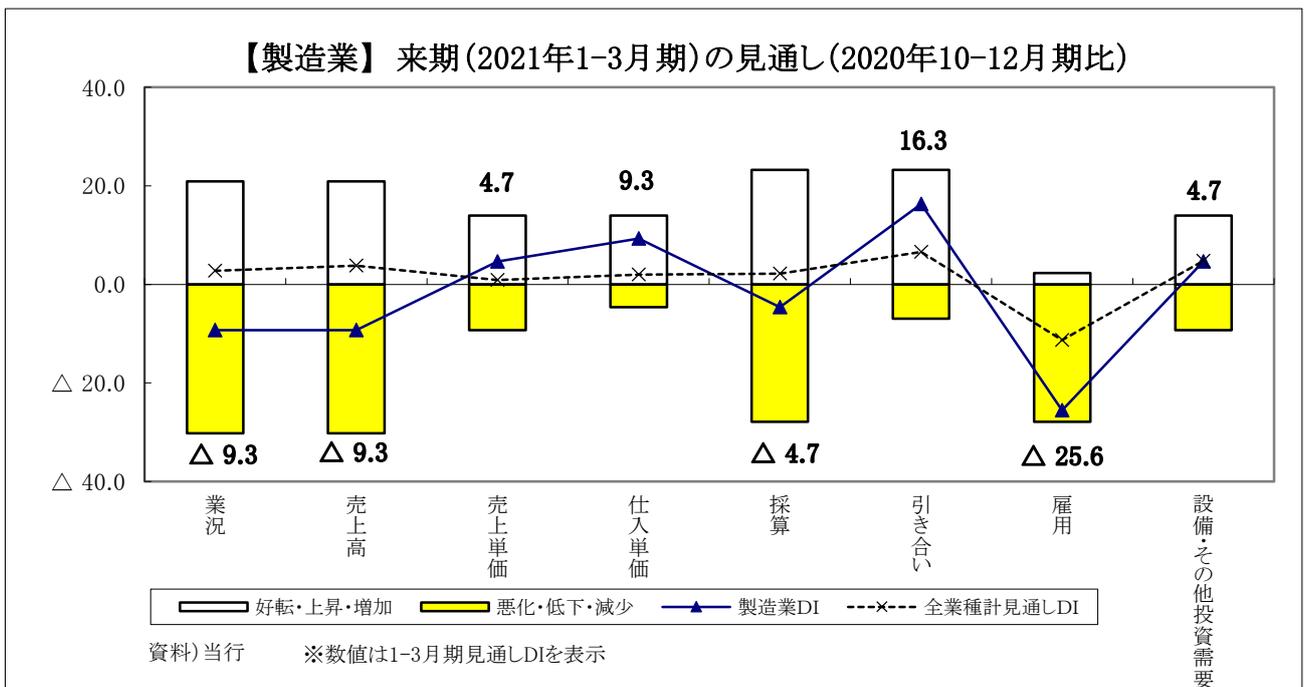
### Ⅲ.調査結果(各論)

#### 1. 製造業

- ▶ 当期 DI(前年同期比)は $\Delta 30.2$  となり、全体として業況の弱さがみられます。食品製造業などで引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、飲食店、観光関連産業などの需要減から、売上高や採算、引き合いなどが減少しています。

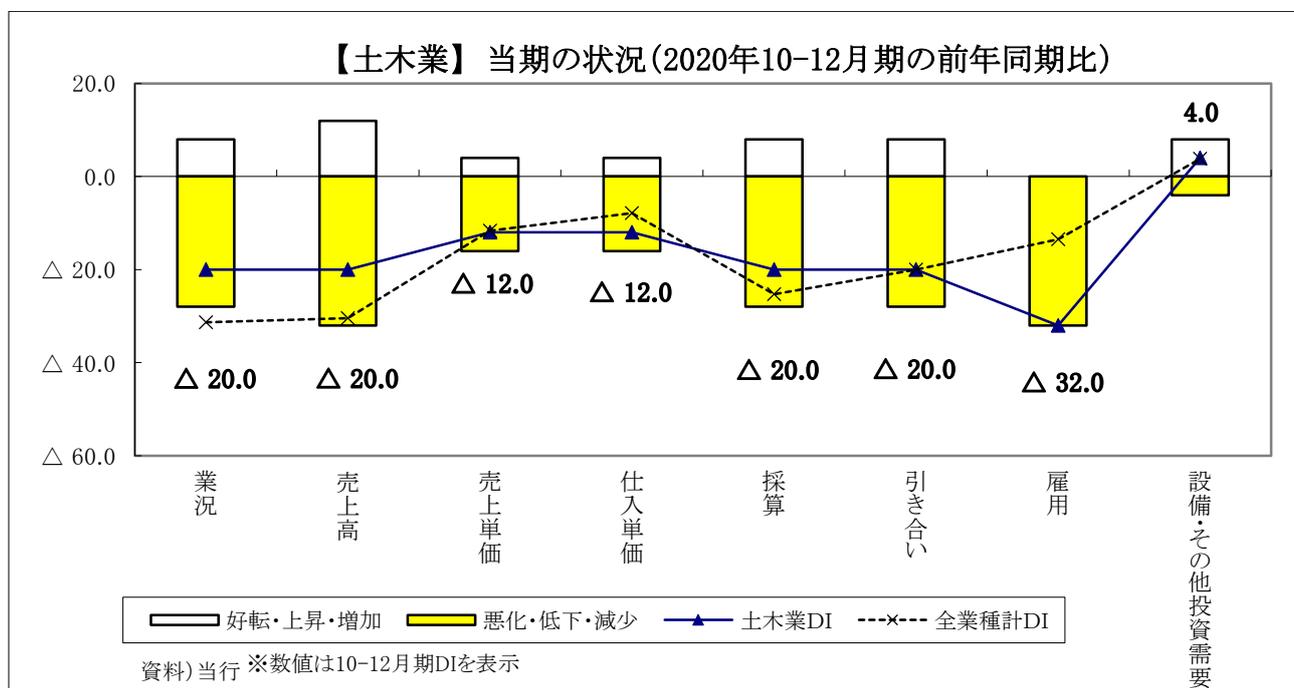


- ▶ 来期の見通し DI(当期比)は $\Delta 9.3$  となり、全体として業況の弱さが見込まれます。食品製造業など、新型コロナウイルス感染拡大の第三波の影響の懸念から、飲食、観光関連産業向けの需要低迷の長期化を予想する向きが見られ、売上高などの業況の弱さが見込まれます。

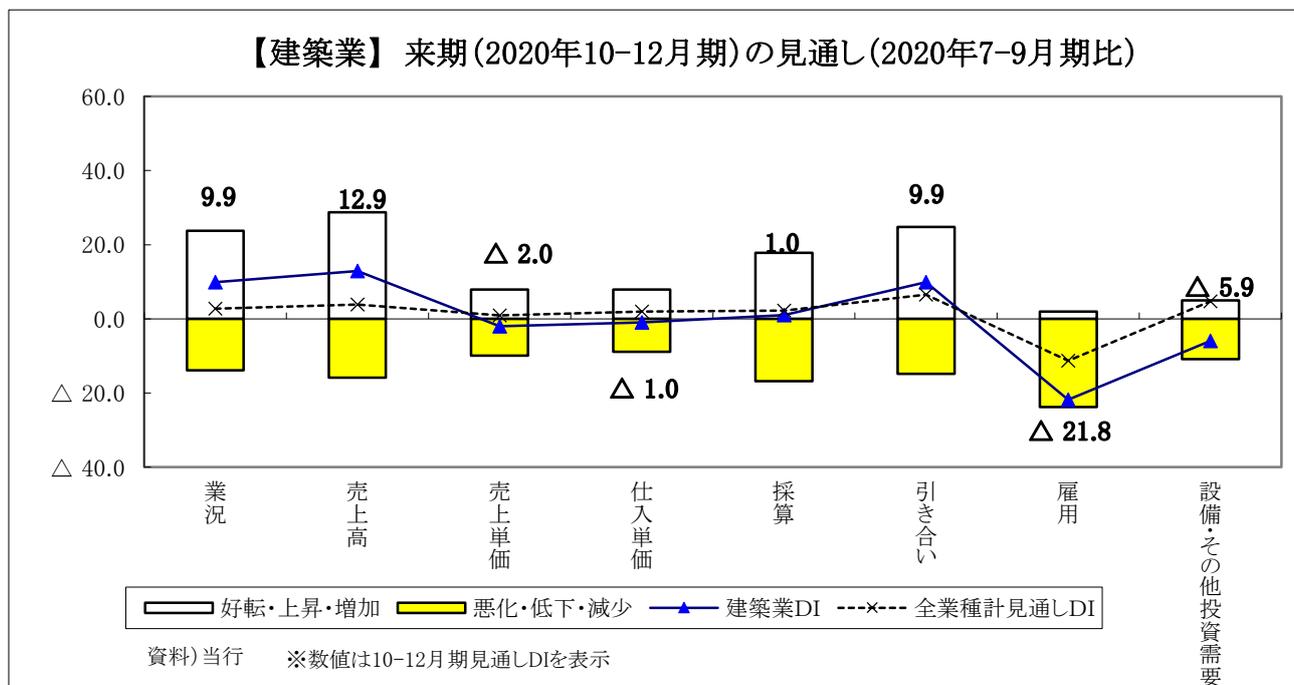


## 2. 土木業

- ▶ 当期の業況DI(前年同期比)は $\Delta 20.0$ なり、全体としては業況の弱さがみられます。新型コロナウイルスの感染拡大の影響により各工事現場の進捗の遅延や人繰りが難航し売上高、採算、引き合いなどが減少しています。

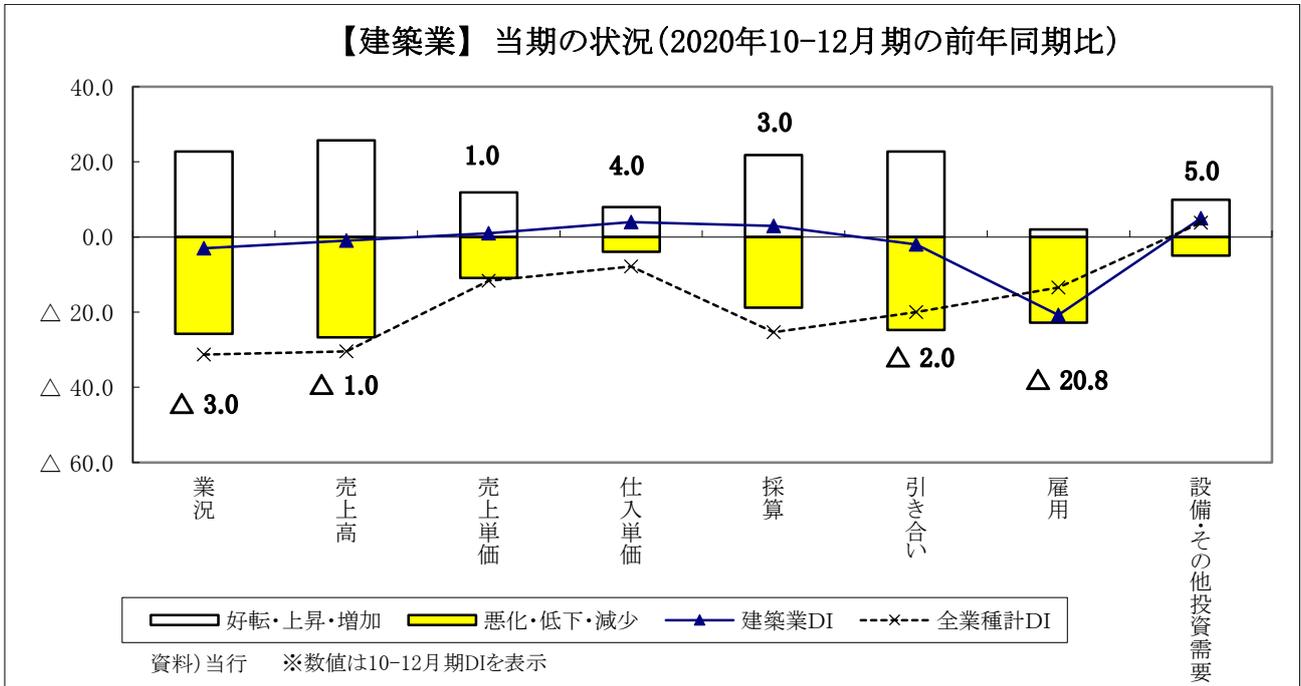


- ▶ 来期の見通しDI(当期比)は9.9となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。引き続き公共工事の安定的な受注への期待から、売上高・採算・引き合いの増加が見込まれます。

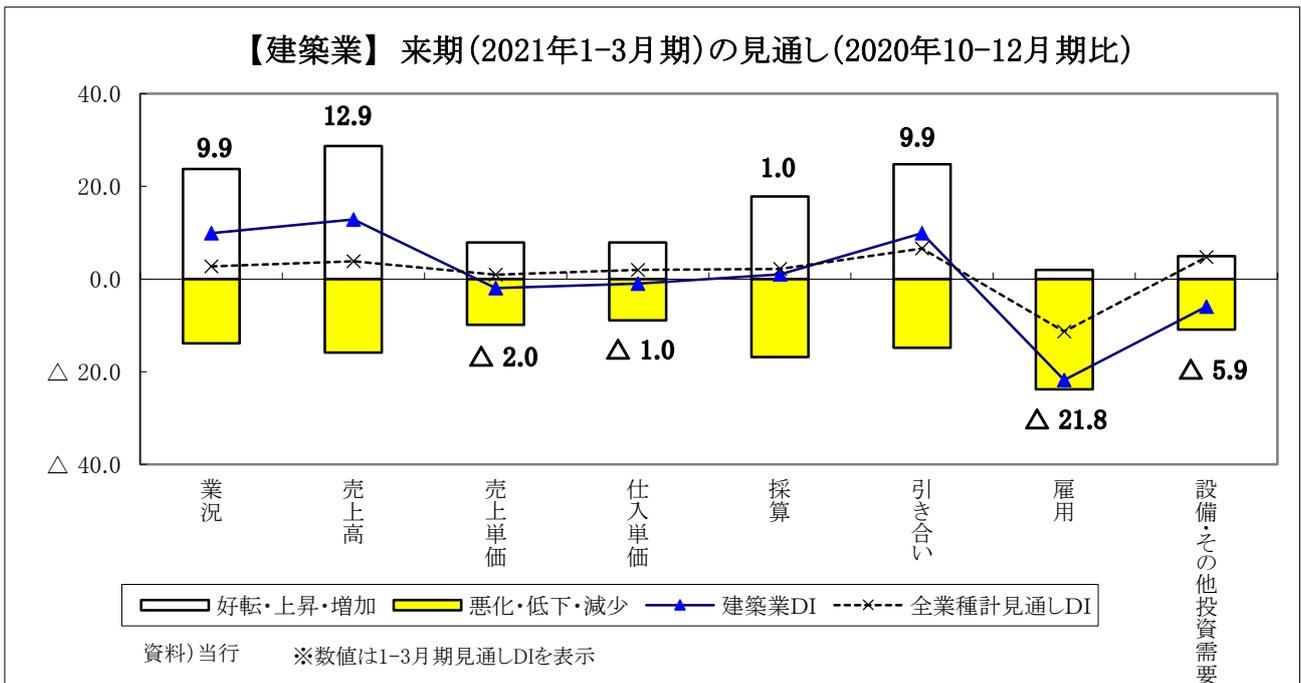


### 3. 建築業

- ▶ 当期の業況 DI(前年同期比)は $\Delta 3.0$  となり、全体としては業況の弱さがみられます。新型コロナウイルスの影響により、資材調達の困難及び資材価格の高騰から、売上高・引き合いなどが悪化しています。また業界全体の人手不足による雇用の確保を懸念する事業者が依然一定数みられます。

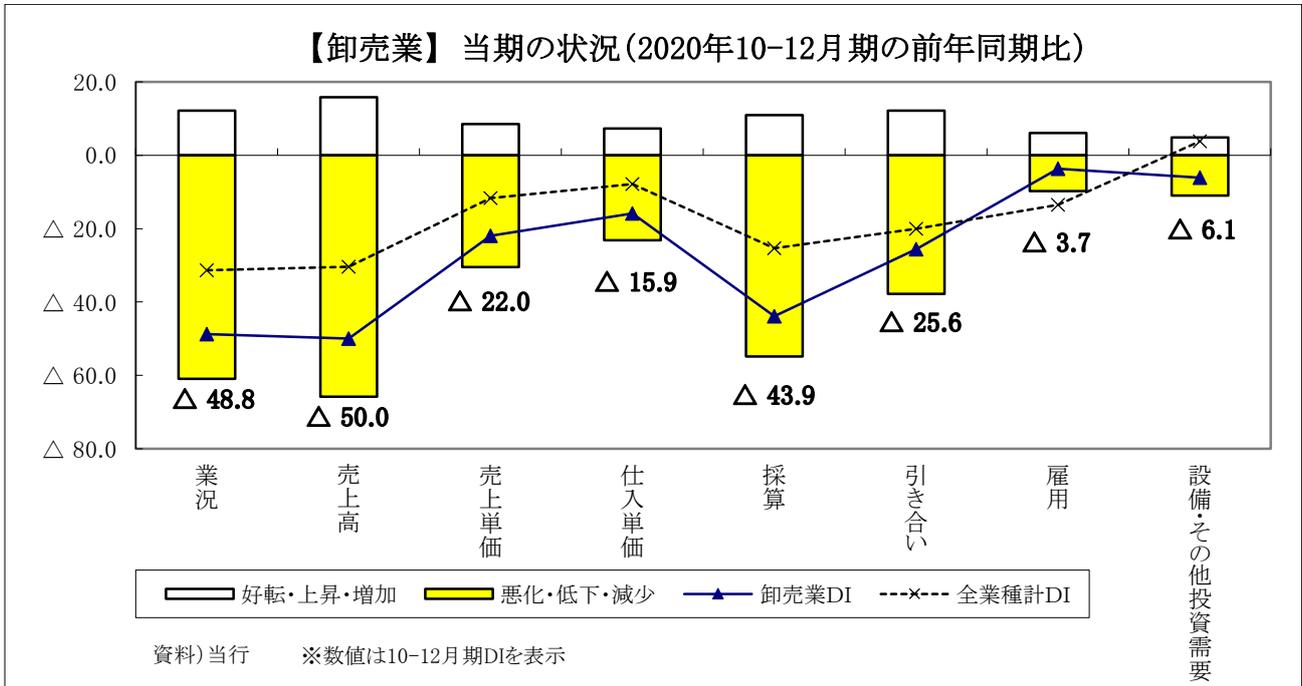


- ▶ 来期の見通し DI(当期比)は  $9.9$  となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。引き続き公共・民間工事の受注増加が見込まれており、売上高・採算・引き合いの増加が見込まれます。人手不足による人材難を懸念する事業者は依然みられます。

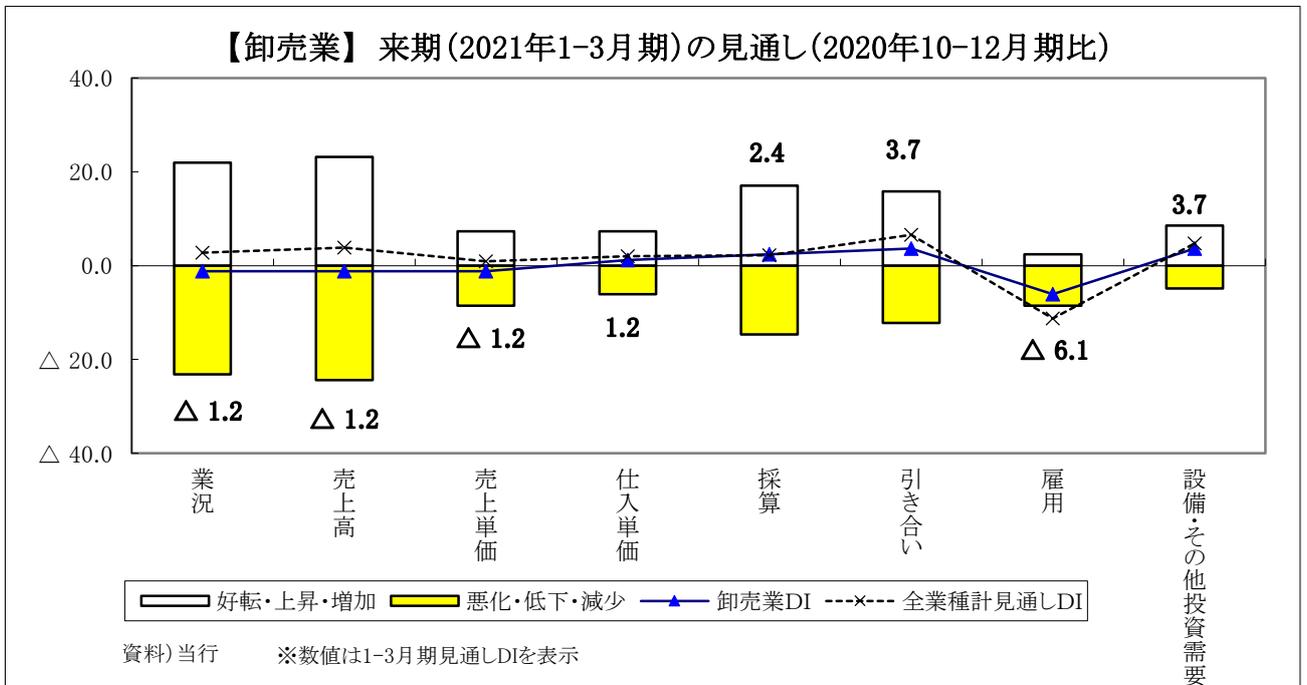


#### 4. 卸売業

- 当期の業況 DI(前年同期比)は $\Delta 48.8$ となり、全体としては業況の弱さがみられます。食品卸売業や観光土産品卸売業などでは、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う観光客の減少や、ホテル・飲食店からの需要減少等により、売上高や採算、引き合いなどが減少しています。

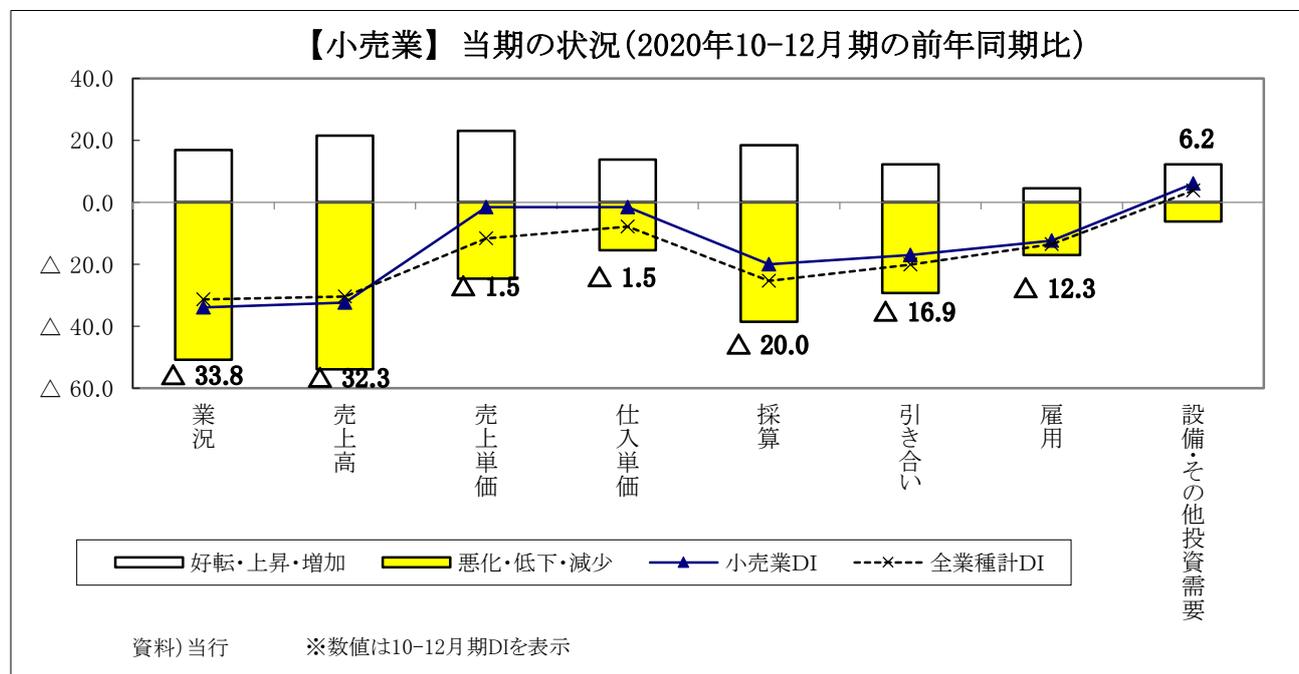


- 来期の見通し業況 DI (当期比)は $\Delta 1.2$ となり、全体としては業況の弱さが見込まれます。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、引き続き需要低迷の長期化から食品・観光土産品・雑貨卸売業などで、売上高などの減少が見込まれますが、採算や引き合いなどでやや業況改善の動きが見込まれます。

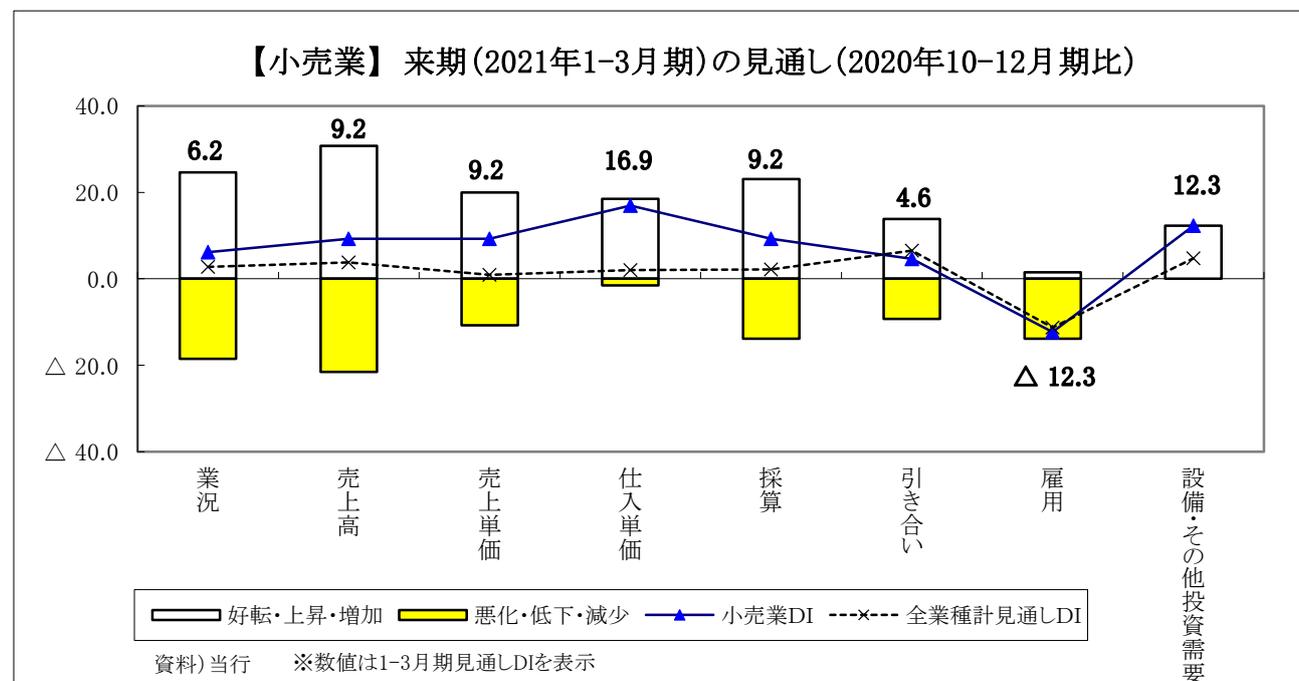


## 5.小売業

- ▶ 当期の業況 DI(前年同期比)は $\Delta 33.8$  となり、全体としては業況の弱さがみられます。衣料品販売、コンビニエンスストアなどでは、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う観光客の需要減少等により売上高・採算・引き合いが減少しています。

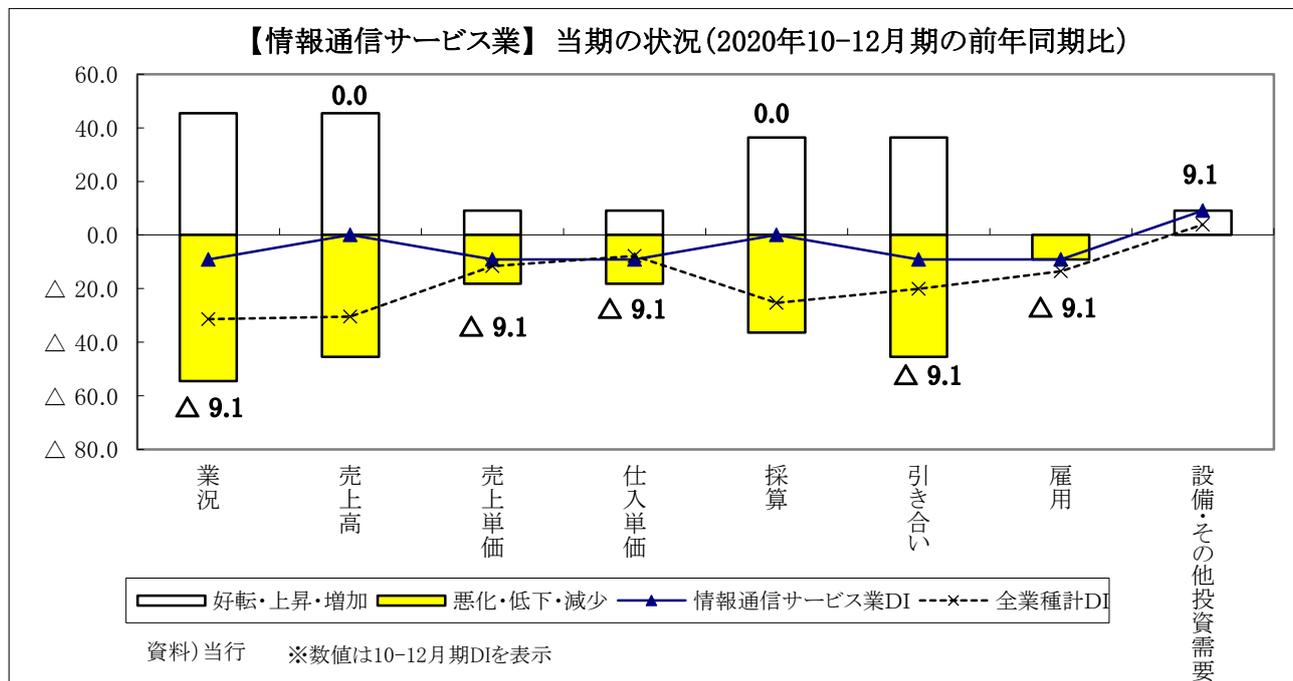


- ▶ 来期の見通し業況 DI(当期比)は 6.2 となり、全体として業況改善の動きが見込まれます。新型コロナウイルス感染拡大の影響の収束感を見据え、衣料品販売などスーパー、コンビニエンスストアなどで売上高・引き合いの増加が見込まれる一方、雇用 ( $\Delta 12.3$ ) では依然、業況の弱さがみられます。

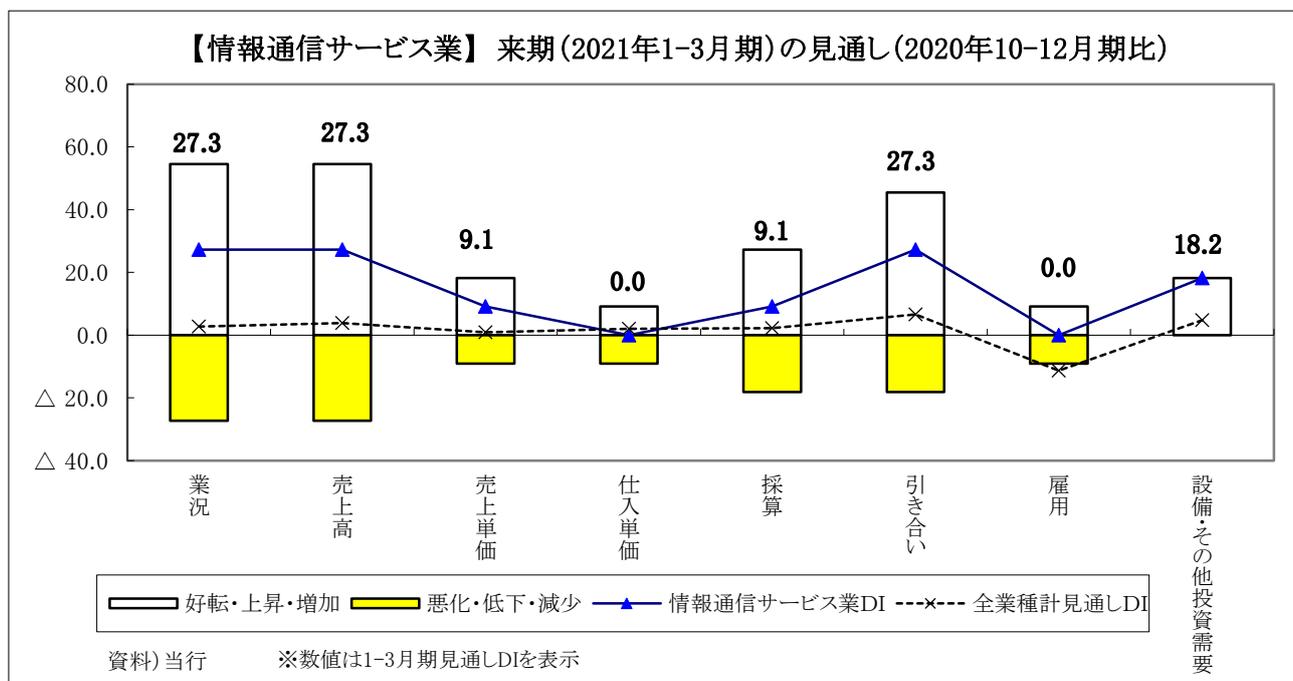


## 6. 情報通信サービス業

- 当期の業況 DI(前年同期比)は $\Delta 9.1$ となり、全体として業況の弱さがみられます。全体的に新型コロナウイルスの影響を受けてイベント等の中止、広告需要の縮小に伴い引き合いなどが減少しています。

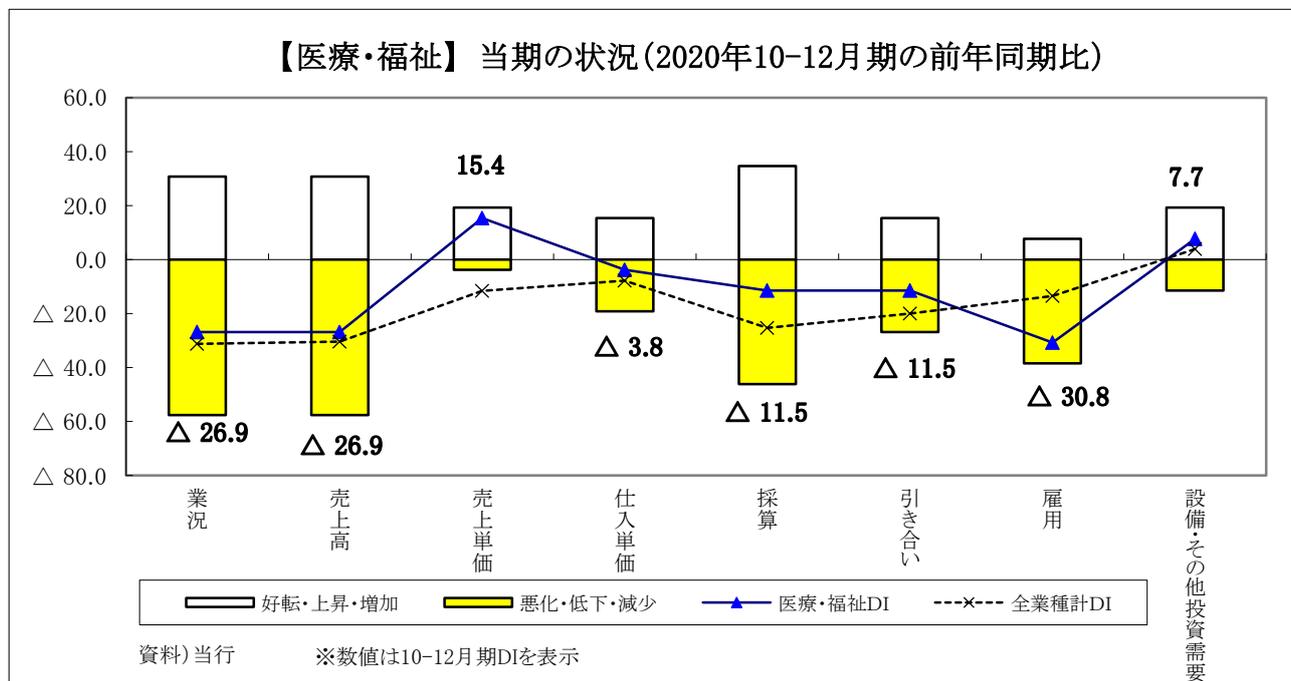


- 来期の見通し業況 DI(当期比)は 27.3 となり、全体として業況改善の動きが見込まれます。新型コロナウイルスの影響はあるものの、巣籠もり需要として高速ネット回線の需要増加から、売上高・採算・引き合いの増加が見込まれます。また引き続きネット販売やデリバリーなどの広告宣伝の増加を見込む向きもみられます。

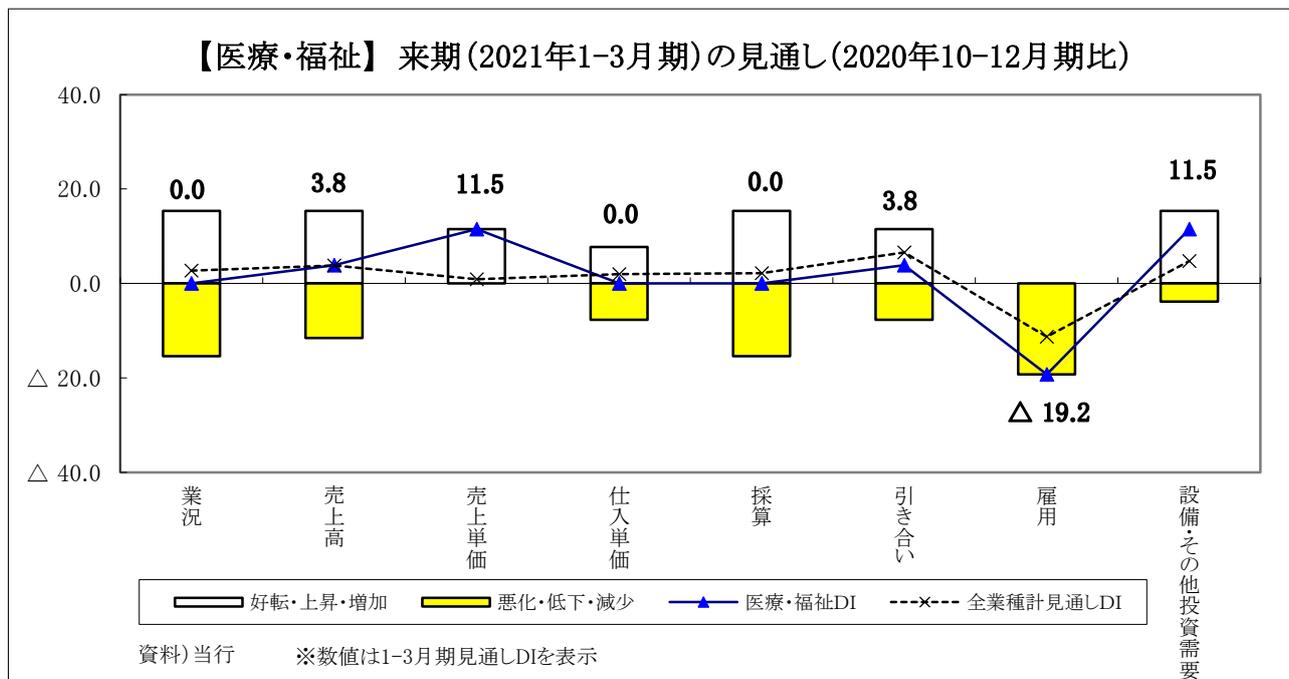


## 7. 医療・福祉

- ▶ 当期の業況 DI(前年同期比)は $\Delta 26.9$ となり、全体としては業況の弱さがみられます。新型コロナウイルスの影響に伴い病院などでは外来患者の減少、介護・福祉施設などでは施設利用者の減少などから売上高・採算・引き合いが減少しています。

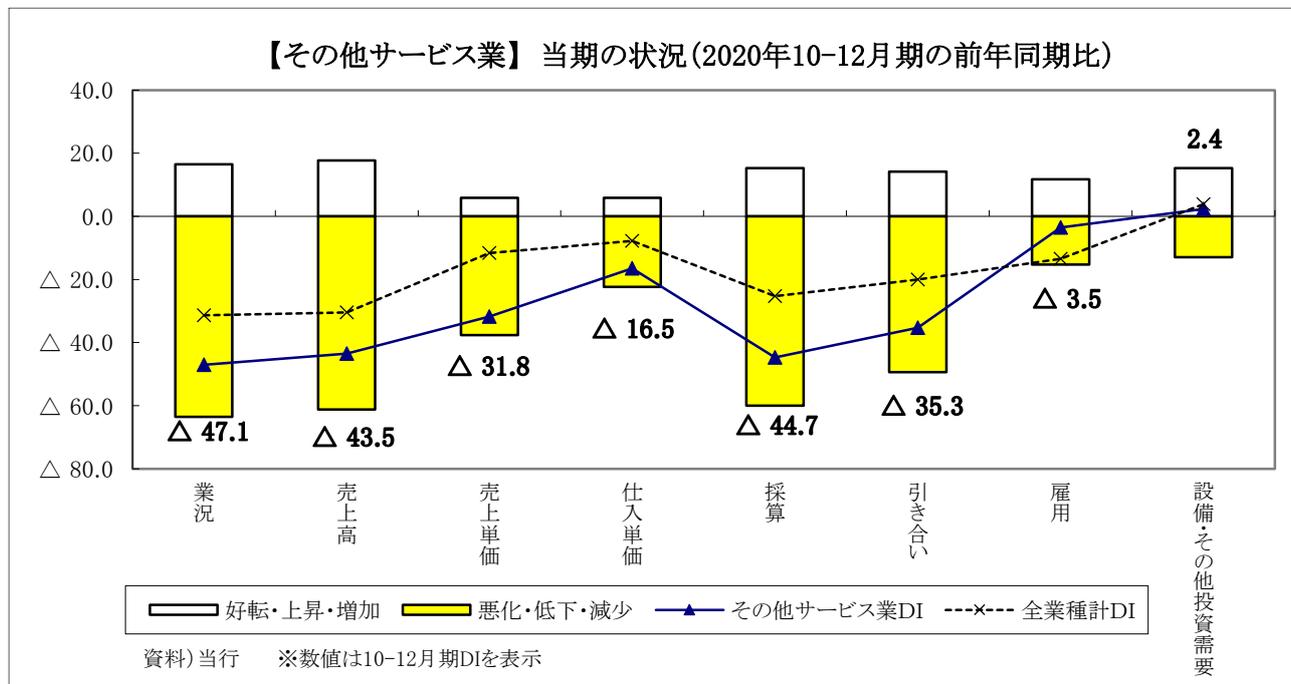


- ▶ 来期の見通し業況 DI(当期比)は $0.0$ となり、全体として業況は横ばいの動きが見込まれます。新型コロナウイルス収束の見通しの不透明感から、診療控えが予測され仕入単価・採算などで横ばいの動きが見込まれます。また雇用( $\Delta 19.2$ )については依然厳しい状況が見込まれます。

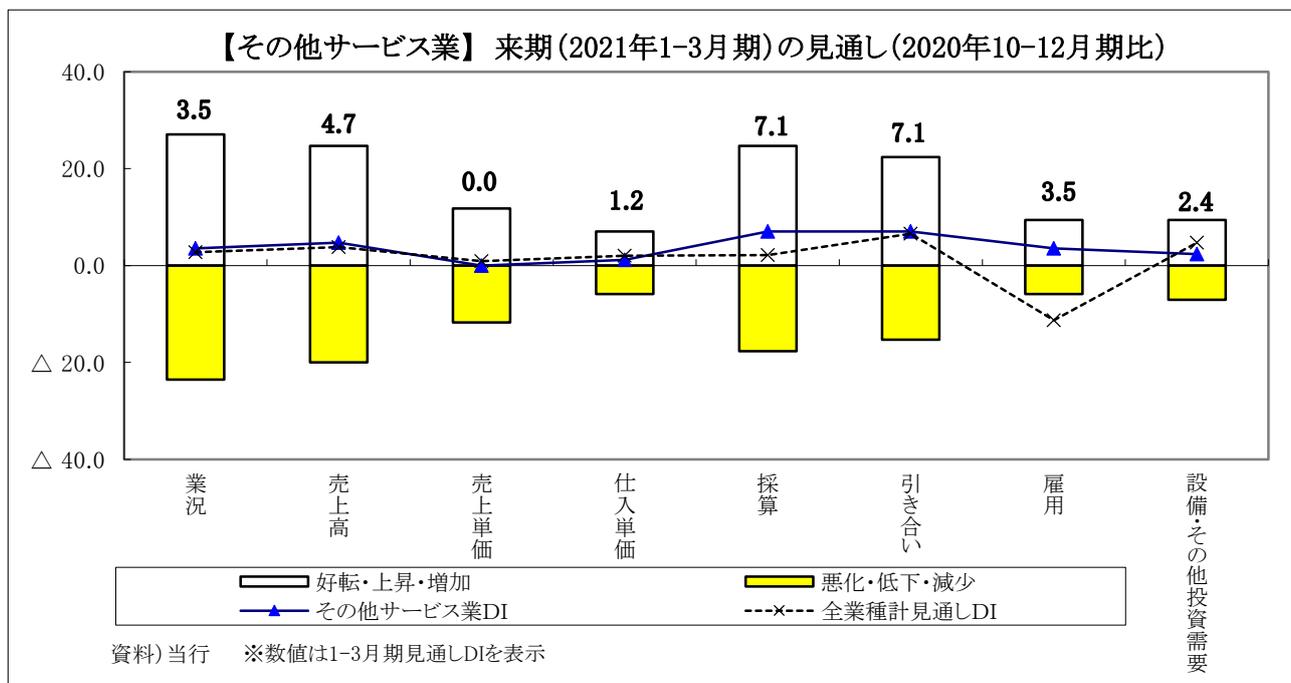


## 8. その他サービス業(宿泊、飲食、ゴルフ場、遊戯場、結婚式場、教育関連など)

- ▶ 当期の業況DI(前年同期比)は $\Delta 47.1$ となり、全体としては業況の弱さがみられます。新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う需要減少やキャンセル等により、宿泊業や観光施設、旅行業などで売上高・採算が減少しています。また、飲食業(居酒屋、焼肉店、レストラン)などにおいても、引き続き来店客数の減少傾向が続き業況の弱さがみられます。

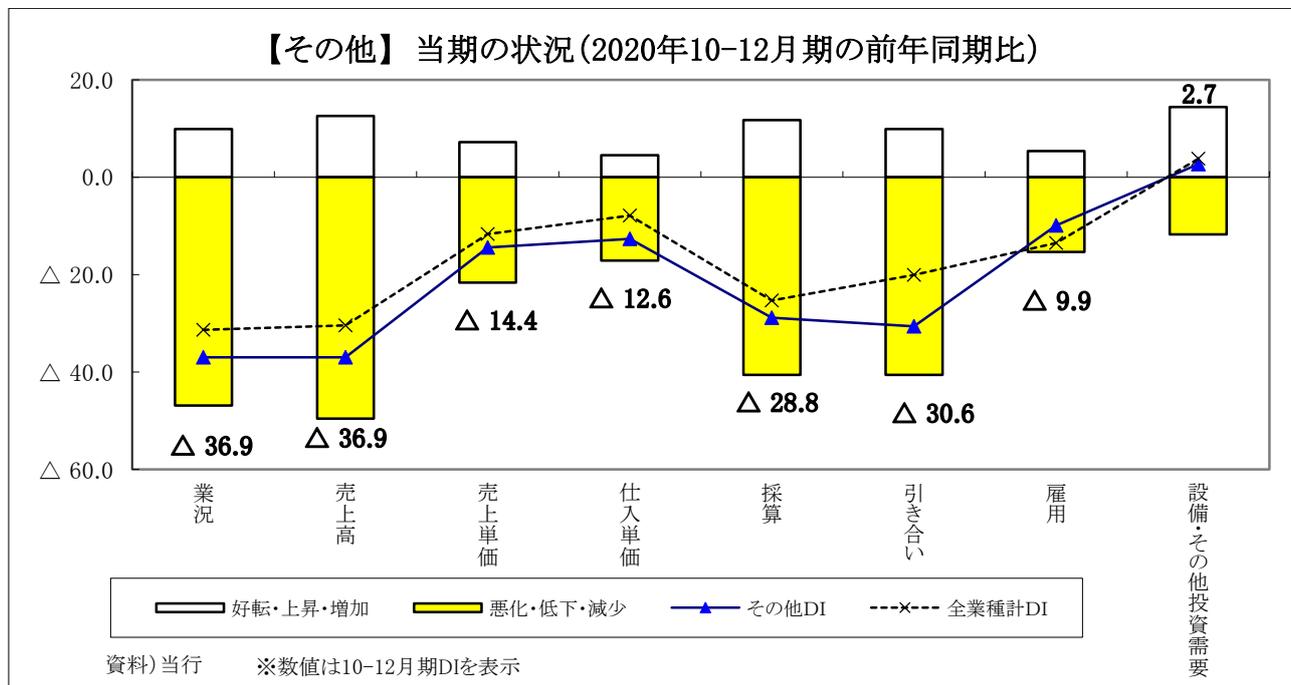


- ▶ 来期の見通し業況DI(当期比)は3.5となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。新型コロナウイルスの拡大懸念はあるものの、政府主導の観光キャンペーンによる観光客の増加予想から売上高・採算・引き合いの増加が見込まれます。

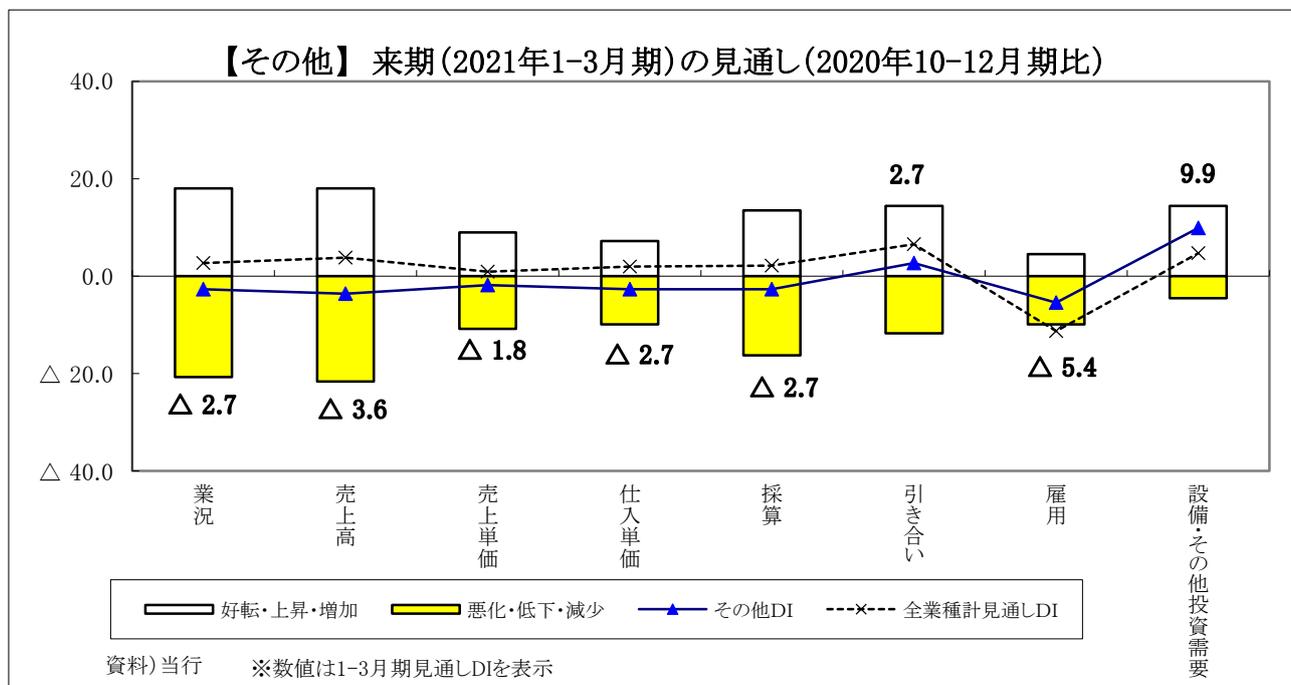


## 9. その他(不動産、運輸、測量・設計コンサル等)

- ▶ 当期の業況DI(前年同期比)は $\Delta 36.9$  となり、全体としては業況の弱さがみられます。運輸業(タクシー、フェリー)、レンタカー業などでは、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う需要減少等により売上高・採算・引き合いの減少がみられます



- ▶ 来期の見通し業況DI(当期比)は $\Delta 2.7$  となり、全体としては業況に弱さの動きが見込まれます。運輸業(タクシー、観光バス)、レンタカー業などでは、新型コロナウイルスの収束の不透明感から売上高・採算などにおいて弱い動きが見込まれています。



#### IV.まとめ(総括)

##### ➤ 【当期の業況 DI】

当期(2020年10-12月期)の業況DIは△31.3(前年同期比)となり、業況の弱さがみられます。観光関連(宿泊、飲食業、観光施設、旅行業等)では、前期に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う需要減により売上高・採算が減少しています。製造業(食品製造業など)において、飲食店や商業施設等へ売上の低迷などから、売上高・採算・引き合いが減少しています。建設関連(土木、建築など)では、新型コロナウイルス感染拡大の影響による工事の進捗遅延や建設資材等の搬入の遅れ、調達難などにより売上高・引き合いなどが減少しています。卸売業(食品卸売、観光土産品卸売など)では、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴うホテル・飲食店からの需要が減少しています。以上のことを踏まえ、全体として業況の弱さが見られます。

##### ➤ 【来期の見通し業況 DI】

来期(2021年1-3月期)の見通し業況DIは2.7(当期比)となり、業況改善の動きが見込まれます。観光関連(宿泊、飲食業、観光施設、旅行業等)では、引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響への懸念はあるものの、国主導の旅行キャンペーン対策への期待感から売上高・採算・引き合いの増加が見込まれます。小売業(ホームセンター、コンビニエンスストアなど)においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響から自宅滞在時間の増加傾向を受けて売上高・採算・引き合いなどで業況改善の動きが見込まれます。情報通信サービス業(インターネット事業、ラジオメディアなど)において、新型コロナウイルス感染拡大の影響はあるものの、リモートの定着や巣籠もり需要として高速ネット回線の利用増などから売上高・採算・引き合いなどで大幅な増加を見込む向きも見られます。

一方足許では、再び新型コロナウイルス感染拡大による第三波の影響などから、感染者は国内、県内共に増加傾向にあります。日本政府は、Go to(旅行需要喚起策)の停止(12月28日から来年1月11日迄)や外国人の新規入国の停止(ビジネス往来は除く、12月28日から来年1月末迄)など、新型コロナウイルス感染拡大に係る対策を発動しています。今後も先の見えない景気の不透明感に対し、引き続き慎重な見方が必要です。